

## 日本菌学会 60 周年記念大会 (近畿) プログラム

主 催：日本菌学会  
日本菌学会会長 山岡裕一  
日本菌学会第60回大会会長 田中千尋 (京都大学)

期 日：2016年9月16日 (金) ~18日 (日)

会 場：京都大学農学部総合館・理学部セミナーハウス  
〒606-8502 京都府京都市左京区北白川追分町 TEL：075-753-6311  
<http://www.kais.kyoto-u.ac.jp/japanese/access/>  
[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r\\_n.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/yoshida/map6r_n.html)

大会事務局：〒520-2113 滋賀県大津市平野2丁目509-3 京都大学生態学研究センター内  
日本菌学会第60回大会事務局 大園享司 E-mail：msjmeeting60@mycology-jp.org

日 程：

9月16日 (金)

9:30~12:00	編集委員会	京都大学農学部総合館 S-174
12:30~14:30	理事会	京都大学農学部総合館 S-174
14:30~17:00	評議員会	京都大学農学部総合館 S-174
17:30~19:30	合同懇親会	旧演習林事務室

9月17日 (土)

8:30~	受付	京都大学農学部総合館 W-100前
9:00~10:30	総会	京都大学農学部総合館 W-100大講義室
10:00~17:00	ポスター発表	京都大学農学部総合館 C-102大会議室, 理学部セミナーハウス
10:30~12:00	各賞授与式および受賞講演	京都大学農学部総合館 W-100大講義室
12:00~13:00	高校生ポスター発表コアタイム	京都大学農学部総合館 C-102大会議室
14:00~14:30	高校生ポスター賞授与式	京都大学農学部総合館 W-100大講義室
14:30~16:30	60周年記念国際シンポジウム	京都大学農学部総合館 W-100大講義室
18:00~20:00	懇親会	京都ブライトンホテル

9月18日 (日)

8:30~	受付	京都大学農学部総合館 W-100前
10:00~12:00	ポスター発表コアタイム (奇数番号10:00~11:00) (偶数番号11:00~12:00)	京都大学農学部総合館 C-102, 理学部セミナーハウス
13:00~15:30	60周年記念学術シンポジウム「菌学60年の進歩」	京都大学農学部総合館 W-100
15:30~16:00	学生発表優秀賞授与式・閉会式	京都大学農学部総合館 W-100

## 大会案内

- 受付
  - 事前登録参加者、当日参加者、招待参加者、いずれの方も必ず受付で手続きください。
  - 受付は、9月17日（土）8:30から、京都大学農学部総合館 W-100前にて行います。
  - 当日参加費は以下の通りです。当日受付の懇親会参加希望者は、なるべく事前に大会事務局にお申し込みください。
  - 大会参加費（講演要旨集代を含む）

通常会員	8,000 円
学生会員	6,000 円
非会員	9,000 円
  - 懇親会参加費

通常会員および非会員	9,000 円
学生会員	5,000 円
  - 講演要旨集のみ 1部 2,000 円
- 名札
  - 領収書兼用の名札は当日、受付でお受け取りください。事前申し込みを頂いた方は講演要旨集と一緒に事前に送付いたします。
- 一般講演（ポスター発表）
  - 一般講演はすべてポスター発表で行います。
  - ポスターは縦長で、縦180cm×横90cmのパネルに収まるように作製してください。
  - ポスター会場は、9月17日（土）、18日（日）ともに9:00開場、17:00閉場です。
  - 発表者は、17日（土）10:00までに、所定発表番号のパネルにポスターを掲示してください。発表コアタイムは、18日（日）10:00～12:00です（奇数番号ポスター10:00～11:00；偶数番号ポスター11:00～12:00）。発表コアタイムには、ポスター前に立ってご発表ください。
  - ポスターは18日（日）12:00～16:00に撤去してください。それ以降に残っているポスターは廃棄します。
  - 事情により、プログラムや会場が変更となる場合がございます。ホームページや受付の掲示を必ずご確認ください。
- 昼食
  - 会場でお弁当の販売はいたしません。昼食は各自でお取り下さい。
  - 会場周辺には大学生協食堂やレストラン、コンビニがあります。
  - 会場内は休憩室以外、すべて飲食厳禁です。お弁当などの飲食は休憩室でお願いいたします。
- 休憩室
  - 京都大学農学部総合館 W-106を、休憩や飲食などにご利用いただけます。
  - 飲料のご用意はございません。農学部総合館や大学生協の自動販売機などをご利用ください。
- 懇親会
  - 会場は、京都ブライトンホテル（京都市上京区新町通中立売、京都御苑の西側 <http://www.brightonhotels.co.jp/kyoto/>）です。
  - 17日（土）17:00より、大会会場から懇親会会場まで、バスによるピストン輸送を実施いたします。発車場所については大会会場案内図をご覧ください。
  - 京都市バスでも移動できます。大会会場すぐの京大農学部前バス停より、203号系統の北野天満宮・西大路四条方面行きに乘車、上京区総合庁舎前バス停で下車（所要約12分）、新町通りを南へ徒歩約8分で懇親会会場です。
- 喫煙
  - いずれの建物もデッキを含めてすべて禁煙です。喫煙は戸外の灰皿が用意してある場所のみにてお願いします。
- アマチュア展示
  - 京都大学農学部総合館 W-124にて行います。
  - 各地のアマチュアの会および個人による活動報告や研究発表の展示を行います。また、菌学会関連・菌学関連の他団体の展示もあります。
- 企業展示
  - 京都大学農学部総合館 W-106にて行います。
- 学生優秀発表賞
  - 菌学会学生会員の優秀発表者に対して、大会から賞を授与いたします。
  - 賞の授与式は、京都大学農学部総合館 W-100にて、9月18日（日）15:30～16:00に行います。
  - 受賞者は、受付に18日（日）15:30までに掲示します。確認の上、授賞式にご参加願います。
- 高校生ポスター
  - 発表コアタイムは、9月17日（土）12:00～13:00です。
  - 高校生ポスターの優秀な発表に対して、大会から賞を授与いたします。
  - 高校生ポスター賞の授与式は、17日（土）14:00より行います。
  - 受賞者は、受付に17日（土）14:00までに掲示します。確認の上、授賞式にご参加願います。

12. 宿泊

- ・ 大会では宿泊や交通の手配の斡旋はいたしません。あらかじめご了承下さい。
- ・ 大会は9月の連休中に当たり、たいへんな混雑が予想されます。宿泊先の早めの手配をおすすめします。

13. 大津フォーレ

- ・ 9月18日の大会プログラム終了後、別途ご案内

する、2016年度日本菌学会菌類観察会（大津フォーレ）が連続して開催されます。

- ・ 18日に京都大学農学部総合館 W-100で開かれる講演会は、申し込み不要で、一般からの来聴を歓迎いたします。
- ・ 19日には、京都からほど近い大津市瀬田において、観察会が開催されます（参加申し込みが必要です）。

60周年記念大会実行委員会

田中 千尋	大会実行委員長	京都大学 大学院農学研究科
大園 享司	事務局長	同志社大学 理工学部
本田 与一	実行委員	京都大学 大学院農学研究科
田中 栄爾	実行委員	石川県立大学 生物資源環境学部
服部 力	実行委員	森林総合研究所 きのこ・森林微生物研究領域
深澤 遊	実行委員	東北大学 大学院農学研究科
太田 祐子	実行委員	日本大学 生物資源科学部
佐久間大輔	実行委員	大阪市立自然史博物館
入江 俊一	実行委員	滋賀県立大学 環境科学部
泉津 弘佑	実行委員	滋賀県立大学 環境科学部
中澤 威人	実行委員	京都大学 大学院農学研究科
白坂 憲章	実行委員	近畿大学 農学部

日本菌学会60周年記念大会（近畿）プログラム

9月17日（土） 京都大学農学部総合館，理学部セミナーハウス

	W-100大講義室	C-102大会議室	S-174	理学部セミナーハウス
9:00	総会	9:00 開場		9:00 開場
10:30	各賞授与式および受賞者講演	10:00～翌日16:00 ポスター発表 (HP01～HP12) (P-001～P-046)		10:00～翌日16:00 ポスター発表 (P-047～P-118) ↓
12:00		12:00～13:00 高校生ポスター (HP01～HP12) コアタイム		
13:00		ポスター発表 ↓	13:00～ 14:00 自由集会	
14:00	高校生ポスター賞授与式			
14:30	60周年記念国際シンポジウム			
16:30				
18:00	懇親会（京都ブライトンホテル）			

9月17日（土） 京都大学農学部総合館 W-100大講義室

時刻	
9:00	総会
10:30	各賞授与式および受賞者講演 座長 山岡 裕一（筑波大学大学院）  受賞講演 耐熱性子囊菌類の分類学および食品菌学的研究 矢口 貴志（千葉大学真菌医学研究センター） 多面的アプローチによる樹木病原菌の生態的特性の総合的理解 高橋 由紀子（森林総合研究所）
14:30	60周年記念国際シンポジウム State of the art and future perspectives on fungal diversity and ecology Organizer: Yuichi Yamaoka (President of MSJ, University of Tsukuba)  S01 The changing shape of mushrooms: toward the new science of fungal evo-devo David Hibbett (Biology Department, Clark University)  S02 Putting the MICRO back in MICROEVOLUTION: fungal evolution in plant-fungal symbioses Richard Shefferson (University of Tokyo)  S03 Environmental controls on the structure of soil and plant-associated fungal communities Roger T. Koide (Department of Biology, Brigham Young University)

9月18日（日） 京都大学農学部総合館，理学部セミナーハウス

	W-100大講義室	C-102大会議室	理学部セミナーハウス
9:00	/	9:00 開場 (ポスター発表) ↓	9:00 開場 (ポスター発表) ↓
10:00		10:00~12:00 ポスター発表コアタイム (奇数番号ポスター10:00~ 11:00; 偶数番号ポスター 11:00~12:00)	10:00~12:00 ポスター発表コアタイム (奇数番号ポスター10:00~ 11:00; 偶数番号ポスター11:00 ~12:00)
12:00			
13:00	12:30 開場 60周年記念学術シンポジウム (~15:30)	↓ ポスターは16:00までに撤去 下さい	↓ ポスターは16:00までに撤去下 さい
16:00	学生発表優秀賞授与式 閉会式	/	/

9月18日（日） 京都大学農学部総合館 W-100大講義室

時刻	
12:30	開場
13:00	60周年記念学術シンポジウム 「菌学60年の進歩」  座長 奥田 徹（日本菌学会60周年記念委員会委員長） シンポジウム開催の挨拶 奥田 徹  S04 ウリ類炭疽病菌( <i>Colletotrichum orbiculare</i> )の形態形成制御と病原性 久保 康之（京都府立大学大学院生命環境科学研究科）  S05 <i>Fusarium</i> 属菌の分類研究の変革と展望 青木 孝之（農業・食品産業技術総合研究機構遺伝資源センター）  S06 糸状菌の新規二次代謝遺伝子の探索と利用 町田 雅之（産業技術総合研究所）

その他

\*9月17日（土） 京都大学農学部総合館・S-174

13:00~14:00 自由集会

『菌類命名規約ワークショップ（MSJ Nomenclature Workshop）』

Presenter: Scott Redhead, Chair, Nomenclature Committee for Fungi

\*9月18日（日） 京都大学農学部総合館・W-100

16:00~18:00 日本菌学会菌類観察会（大津フォーレ）講演会（学会参加者は参加できます）

佐久間大輔（関西菌類談話会・大阪自然史博）「本郷次雄氏の菌類研究と大津市瀬田・石山地域の環境」

\*京都大学農学部総合館・W-124

『アマチュア展示2016』ならびに日本菌学会関連団体展示  
アマチュアの連絡会（有志）

\*京都大学農学部総合館・W-106

企業展示 株式会社菱六

日本菌学会60周年記念大会（近畿）プログラム

ポスター発表(高校生ポスター) 京都大学農学部総合館 C-102大会議室

コアタイム 9月17日 10:00~12:00	
HP01	酵母の環境ストレス耐性に関する研究 吉田捺希・北川怜奈（引率者：大矢英樹） 岐阜県立岐阜農林高等学校食品科学科
HP02	天然素材の抗菌作用を利用した防腐剤研究 石丸貴章・棚橋洸太（引率者：大矢英樹） 岐阜県立岐阜農林高等学校食品科学科
HP03	カキ炭疽病菌やイチゴ炭疽病菌に対する抗菌性物質の探索 農本宮子・細川優太・松浦要・渡邊菜々美（引率者：水本祐之） 奈良県立青翔高等学校
HP04	LED を用いた細胞性粘菌の走光性 清水公平・中上元太・森崎亘（引率者：中澤克行） 兵庫県立神戸高等学校総合理学科
HP05	粘菌 ～変色とその理由～ 濱野紬・横手奈々子・松本佳奈（引率者：林義隆） 高松第一高等学校
HP06	ホエーを与えたときの発電菌の発電量の変化 山縣咲季（引率者：小境久美子） 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
HP07	酵母 <i>Lipomyces starkeyi</i> の金属イオン添加による油脂生成量の変化 杉本嶺司（引率者：小境久美子） 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
HP08	被災地を守る「究極のエコ資材」～神秘なるキノコパワー～ 杉山絵里香・堀口朋香・深澤志統・酒井唯奈・伊東俊輔・大石大輝・児玉正吾・成島和奈・清水大世（引率者：望月基希） 静岡県立富岳館高校
HP09	菌根菌と腐生菌の好みの気温と降水量について～選好指数から見た多様性～ 中原雨音・廣岡季陽里・成将希・西端実弥美・砂川真智子・吉田みやび・辻彩乃・関口高雄 （引率者：河合祐介） 兵庫県立御影高等学校環境科学部生物班
HP10	屋久島のスギ樹皮生粘菌の分布 南耕太郎・矢吹直之・山崎裕弥・近藤蒼真・山崎穂・細川菜々子（引率者：高橋和成） 岡山理科大学附属高校課題研究グループ
HP11	<i>Flagelloscypha</i> 属の日本未報告種 3 種について 喜多祐斗・杉野弘幸・二瓶瑛介（引率者：中野遼） 大阪府立園芸高等学校
HP12	<i>Henningsomyces</i> 属の 2 未記載種 江田伊織・田中美優（引率者：中野遼） 大阪府立園芸高等学校

ポスター発表 京都大学農学部総合館 C-102大会議室

コアタイム 9月18日 奇数番号ポスター10:00~11:00; 偶数番号ポスター11:00~12:00	
P-001	<i>Flagelloscypha</i> 属の日本未報告種 3 種について 喜多祐斗・〇杉野弘幸・二瓶瑛介 (大阪府立園芸高等学校)
P-002	<i>Henningsomyces</i> 属の 2 未記載種 江田伊織・〇田中美優 (大阪府立園芸高等学校)
P-003	変形菌胞子の「異常形成」概念の検証 〇矢島由佳 <sup>1)</sup> ・星野保 <sup>2)</sup> ・張裕喆 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 室工大; <sup>2)</sup> 産総研)
P-004	<i>Pestalotia</i> 属の所属 〇渡辺京子 <sup>1,2)</sup> ・野澤俊介 <sup>1)</sup> ・トム シャン <sup>3)</sup> ・大島研郎 <sup>4)</sup> ・ブレンダ カレン <sup>5)</sup> ( <sup>1)</sup> 玉川大大学院農; <sup>2)</sup> 玉川大菌学応用; <sup>3)</sup> ゲルフ大環境科学学部; <sup>4)</sup> 法政大応用植物科学; <sup>5)</sup> カナダパシフィックフォレストセンター)
P-005	北アメリカ南部と南アメリカ北部に分布するブドウ葉さび病菌の分子系統学的検討 〇岡根泉 <sup>1)</sup> ・安藤裕萌 <sup>1)</sup> ・栗田招子 <sup>1)</sup> ・山岡裕一 <sup>1)</sup> ・小野義隆 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 筑大生命, <sup>2)</sup> 茨大教)
P-006	晩秋から初冬のシラカシを主体とする林に発生するキシメジ属菌2種について 〇牛島秀爾・長澤栄史 (菌蕈研)
P-007	臨床材料から分離された黒色 <i>Aspergillus</i> 2新種の分類学的研究 〇堀江義一 <sup>1)</sup> ・Paride Abliz <sup>2)</sup> ・矢口貴志 <sup>1)</sup> ・五ノ井透 <sup>1)</sup> ・松澤哲宏 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 千葉大真菌センター; <sup>2)</sup> 新疆医科大学; <sup>3)</sup> 長崎県立大)
P-008	水環境DNA からLSU rDNAを増幅するための菌類特異的プライマーの比較評価 横山桃子 <sup>1)</sup> ・〇長濱統彦 <sup>1)</sup> ・小林英城 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> ノートルダム清心大; <sup>2)</sup> 海洋研究開発機構)
P-009	屋久島において採集したゴキブリ寄生菌ヒュウガゴキブリタケ <i>Ophiocordyceps</i> sp.に寄生した <i>Polycephalomyces</i> 属菌について 〇盛口 満 <sup>1)</sup> ・松澤哲宏 <sup>2)</sup> ・武田桂三 <sup>3)</sup> ・小林 徹 <sup>3)</sup> ・金城典子 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 沖縄大学人文学部; <sup>2)</sup> 長崎県立大学; <sup>3)</sup> 日本冬虫夏草の会)
P-010	<i>Massariosphaeria typhicola</i> の分類学的再検討 〇高橋拓雅・田中和明 (弘前大農生)
P-011	ヒノキ科樹木に寄生する日本産 <i>Phyllosticta</i> 属菌の分子系統解析 〇服部友香子 <sup>1)</sup> ・中島千晴 <sup>2)</sup> ・本橋慶一 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 東農大院; <sup>2)</sup> 三重大院生資; <sup>3)</sup> 東農大地域)
P-012	ケニアのアフラトキシン汚染のホットスポットで栽培されたトウモロコシから分離された <i>Aspergillus</i> section <i>Nigri</i> の分類学的研究 〇松澤哲宏 <sup>1)</sup> ・五ノ井透 <sup>2)</sup> ・Mashedi Olga <sup>3)</sup> ・Bii Christine <sup>3)</sup> ・堀江義一 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 長崎県立大; <sup>2)</sup> 千葉大・真菌センター; <sup>3)</sup> Medical Mycology Kenya Medical Research Institute, Kenya)
P-013	動物糞より分離された <i>Krieglsteinera</i> 属の1未記載種について 〇山田宗樹 <sup>1)</sup> ・Songsak Wattanachaisareekul <sup>2)</sup> ・出川洋介 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 筑波大菅平; <sup>2)</sup> モンクット王トンブリー工科大)

P-014	汽水堆積物中の菌類多様性と嫌気集積培養による変化 ○西尾早生 <sup>1)</sup> ・山田裕子 <sup>1)</sup> ・小林英城 <sup>2)</sup> ・長濱統彦 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> ノートルダム清心大 ; <sup>2)</sup> 海洋研究開発機構 )
P-015	蘚類寄生菌 <i>Eocronartium muscicola</i> の遺伝的多様性に関する検討 ○渡部彩香・岡根泉・出川洋介・山岡裕一 (筑波大生命環境)
P-016	ブナ属に寄生する <i>Neohendersonia</i> 属菌類の分類学的検討 (3) ○松村美里 <sup>1,2)</sup> ・加藤航 <sup>1)</sup> ・橋本陽 <sup>1,2)</sup> ・René K. Schumacher <sup>3)</sup> ・高橋由紀子 <sup>4)</sup> ・白水貴 <sup>5)</sup> ・田中和明 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 弘大 ; <sup>2)</sup> 岩手連大 ; <sup>3)</sup> Furstenwalde/Spree, Germany ; <sup>4)</sup> 森林総研 ; <sup>5)</sup> 国立科博 )
P-017	広義 <i>Lophiostoma bipolare</i> の分類学的再検討 ○高橋勇人 <sup>1)</sup> ・平山和幸 <sup>2)</sup> ・田中和明 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 弘前大農生 ; <sup>2)</sup> 青森産技セリんご研 )
P-018	<i>Neopestalotiopsis</i> 属における新種とネオタイプの提案 ○野澤俊介 <sup>1)</sup> ・安藤勝彦 <sup>2)</sup> ・ニュン ペイ <sup>3)</sup> ・内川敬介 <sup>4)</sup> ・菅康弘 <sup>4)</sup> ・渡辺京子 <sup>1,5)</sup> ( <sup>1)</sup> 玉川大大学院農 ; <sup>2)</sup> NITE ; <sup>3)</sup> ミャンマーパテイン大学 ; <sup>4)</sup> 長崎県農林技術開発センター ; <sup>5)</sup> 玉川大菌学応用 )
P-019	日本産 <i>Hypochnicium</i> 属(タマチョレイタケ目, シワタケ科)の分類学的研究 ○小木広樹 <sup>1)</sup> ・早乙女梢 <sup>2)</sup> ・中桐昭 <sup>2)</sup> ・前川二太郎 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 鳥取大院農 ; <sup>2)</sup> 鳥取大農 )
P-020	ウラジロウロコタケ様子実体を形成する担子菌の分類学的検討 ○畑田知弥 <sup>1)</sup> ・早乙女梢 <sup>2)</sup> ・中桐昭 <sup>2)</sup> ・前川二太郎 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 鳥取大院農 ; <sup>2)</sup> 鳥取大農 )
P-021	ホシミノタマタケ属 <i>Fulvoglobus</i> 亜属の地下生菌未記載種の系統地理学的特性と種間交雑の可能性 ○折原貴道 (神奈川県博)
P-022	<i>Gloeocystidiellum porosum</i> 様子実体を形成する担子菌の分類学的検討 ○小林崇人 <sup>1)</sup> ・早乙女梢 <sup>2)</sup> ・中桐昭 <sup>2)</sup> ・前川二太郎 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 鳥取大院農 ; <sup>2)</sup> 鳥取大農 )
P-023	キイボカサタケおよびその関連菌群の分類学的再検討 ○池側静華 <sup>1)</sup> ・保坂健太郎 <sup>2)</sup> ・糟谷大河 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 千葉科学大危機管理 ; <sup>2)</sup> 国立科博 )
P-024	ケラの腸管より検出されたキクセラ目の未記載種 ○出川洋介 (筑波大菅平)
P-025	油脂生産性緑藻( <i>Chlamydomonas</i> sp.)に寄生する新規ツボカビ類 ○稲葉重樹 (製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター)
P-026	ムラサキシメジのキシメジ科内における類縁関係の解析 ○吉田有希・玉井裕・宮本敏澄 (北大院農)
P-027	日本産フクロシトネタケ科菌類の系統分類 ○大前宗之 <sup>1)</sup> ・折原貴道 <sup>2)</sup> ・山本航平 <sup>3)</sup> ・前川二太郎 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> (株)北研 ; <sup>2)</sup> 神奈川県博 ; <sup>3)</sup> 信州大農 ; <sup>4)</sup> 鳥取大農 )
P-028	<i>Mycodidymella</i> 属と <i>Pseudodidymella</i> 属の系統学的考察 ○橋本陽 <sup>1,2)</sup> ・藤本龍介 <sup>1)</sup> ・田中和明 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 弘前大農生 ; <sup>2)</sup> 岩手連大 )



P-029	3遺伝子領域に基づく <i>Corioloopsis</i> 属および類似属の分子系統関係について ○的崎利規 <sup>1)</sup> ・服部力 <sup>2)</sup> ・前川二太郎 <sup>3)</sup> ・中桐昭 <sup>3)</sup> ・Lee Su See <sup>4)</sup> ・早乙女梢 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 鳥取大院農 ; <sup>2)</sup> 森林総研 ; <sup>3)</sup> 鳥取大農 ; <sup>4)</sup> マレーシア森林研究所)
P-030	南半球産アカキクラゲ綱の多様性と系統 ○白水貴 <sup>1)</sup> ・保坂健太郎 <sup>1)</sup> ・南京沃 <sup>1)</sup> ・Bevan Weir <sup>2)</sup> ・Peter Johnston <sup>2)</sup> ・細矢剛 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 国立科博 ; <sup>2)</sup> Landcare Research)
P-031	分子系統解析に基づく日本産 <i>Pythium sylvaticum</i> の分類学的検討 ○埋橋志穂美・青木孝之・中島比呂美 (農研機構 遺伝資源センター)
P-032	多数遺伝子座を用いたイグチ目の分子系統解析～宿主樹種の転換に着目して～ ○佐藤博俊 (京都大生態研)
P-033	<i>Endocalyx</i> 属代表種の分子系統学的解析 Gregorio Delgado <sup>1)</sup> ・後藤慶一 <sup>2)</sup> ・大熊盛也 <sup>3)</sup> ・岡田元 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> EMLab P&K North Phoenix ; <sup>2)</sup> 東海大学 ; <sup>3)</sup> 理化学研究所)
P-034	日本産バツカクキン <i>Claviceps purpurea</i> の分類学的再検討 ○棚田一仁・田中栄爾 (石川県立大学)
P-035	日本産 <i>Pseudocercospora</i> 属菌の分子系統 ○中島千晴 <sup>1)</sup> ・本橋慶一 <sup>2)</sup> ・J. Z. Groenewald <sup>3)</sup> ・P. W. Crous <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 三重大院生資 ; <sup>2)</sup> 東農大地域 ; <sup>3)</sup> CBS-KNAW)
P-036	茨城県の海浜より採集された新種 <i>Gastrosporium</i> 属菌の分類学的検討 ○糟谷大河 <sup>1)</sup> ・埴祥太 <sup>1)</sup> ・保坂健太郎 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 千葉科学大危機管理 ; <sup>2)</sup> 国立科博)
P-037	日本産セイヨウシヨウロ属の2新種 : <i>Tuber japonicum</i> と <i>Tuber flavidosporum</i> spp. nov. ○木下晃彦 <sup>1)</sup> ・佐々木廣海 <sup>2)</sup> ・奈良一秀 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 森林総研 ; <sup>2)</sup> 菌懇会 ; <sup>3)</sup> 東大新領域)
P-038	Oak powdery mildew <i>Erysiphe gracilis</i> is a species complex consisting of at least six genotypes ○Siska A. S. Siahaan <sup>1)</sup> , Hitomi Sakamoto <sup>2)</sup> , Toshiya Shinoda <sup>2)</sup> , Susumu Takamatsu <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> Graduate School of Bioresources, Mie Univ.; <sup>2)</sup> Faculty of Bioresources, Mie Univ.)
P-039	Cryptic species found in <i>Parauncinula septata</i> (Erysiphales) on <i>Quercus</i> spp. ○Jamjan Meeboon <sup>1)</sup> , Siska Arie Santy Siahaan <sup>1)</sup> , Kayoko Fujioka <sup>2)</sup> , Susumu Takamatsu <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> Graduate School of Bioresources, Mie Univ.; <sup>2)</sup> Ibara High School)
P-040	2つの日本新産種 <i>Macrolepiota mastoidea</i> と <i>Echinoderma echinaceum</i> について ○丸山厚吉・村上哲明 (首都大学東京牧野標本館)
P-041	<i>Smittium imitatum</i> (ハルペラ目) の付着細胞の形態について ○佐藤大樹 <sup>1)</sup> ・稲葉重樹 <sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup> 森林総研 ; <sup>2)</sup> NBRC)
P-042	千葉県, 東京都及び富山県で発見された <i>Parasola</i> 属 (ナヨタケ科) の1新種 ○吹春俊光 <sup>1)</sup> ・P. Thao NGUYEN <sup>2)</sup> ・清水公德 <sup>3)</sup> ・丸山厚吉 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> 千葉中央博 ; <sup>2)</sup> ベトナム科学技術アカデミー ; <sup>3)</sup> 東京理科大 ; <sup>4)</sup> 首都大学東京牧野標本館)

P-043	<i>Fusarium tuiense</i> もブラックライト照射により形態が変化する ○青木孝之 <sup>1)</sup> ・K. O'Donnell <sup>2)</sup> ・M. Maymon <sup>3)</sup> ・S. Freeman <sup>3)</sup> ・M. Crespo <sup>4)</sup> ・F.M. Cazorla <sup>4)</sup> ・A. de Vicente <sup>4)</sup> ・E. Arrebola <sup>4)</sup> ・J.A. Torés <sup>4)</sup> . (1)農研機構；2)NCAUR-USDA；3)Volcani Center, ARO；4)Universidad de Málaga)
P-044	日本で採取されたフウセンタケ属きのこの日本新産種2種について ○宮内信之助（新潟市）
P-045	長野県安曇野市で採取された「ユキシロ」の分類学的検討 ○遠藤直樹 <sup>1)</sup> ・床尾力哉 <sup>2)</sup> ・山田明義 <sup>3)</sup> (1)鳥大FMRC；2)全農長野；3)信大農)
P-046	今関六也氏菌類図譜に描かれた標本の所在 ○大坪（小出）奏・折原貴道（神奈川県博）

ポスター発表 理学部セミナーハウス

コアタイム 9月18日 奇数番号ポスター10:00～11:00；偶数番号ポスター11:00～12:00	
P-047	ブナ科樹木根部から検出されるビョウタケ目菌の集団構造の解析 ○中村慎崇・田中千尋・竹内祐子（京都大学）
P-048	標高傾度に伴う2土壌層位中の土壌菌類群集の空間変動 ○松岡俊将 <sup>1)</sup> ・森章 <sup>2)</sup> ・保原達 <sup>3)</sup> ・大園享司 <sup>1,4)</sup> (1)京大生態研センター；2)横浜国立大；3)酪農学園大；4)同志社大)
P-049	ヤマブドウに寄生するサビキン2種の発生生態について ○栗田招子 <sup>1)</sup> ・岡根泉 <sup>1)</sup> ・山岡裕一 <sup>1)</sup> ・小野義隆 <sup>2)</sup> (1)筑波大生命環境；2)茨大教育)
P-050	ヤマカモジグサを宿主とする <i>Epichloë sylvatica</i> の遺伝的多型と伝搬特性 ○三輪恵実・岡根泉・石賀康博・山岡裕一（筑波大生命環境）
P-051	野外におけるオカダンゴムシによるクモタケの分生子分散の可能性 ○小林一樹 <sup>1)</sup> ・池側静華 <sup>2)</sup> ・糟谷大河 <sup>2)</sup> (1)千葉科学大院危機管理；2)千葉科学大危機管理)
P-052	変形菌の餌となる微生物の調査 ○堀川龍志 <sup>1)</sup> ・阿部恭久 <sup>2)</sup> ・太田祐子 <sup>1)</sup> (1)日大；2)元日大)
P-053	<i>Coleosporium</i> 属菌のアカマツ針葉上での動態差を生む要因の解明 ○鈴木浩之・山岡裕一（筑波大生命環境）
P-054	傷害に対する子実体菌糸の反応 田中葵・○中森泰三（横浜国立大学）
P-055	変形菌イタモジホコリの変形体による養分無機化作用 ○深澤遊 <sup>1)</sup> ・駒形泰之 <sup>2)</sup> ・川上新一 <sup>3)</sup> (1)東北大学；2)京都大学；3)山形県博)
P-056	On populations of ectomycorrhizal fungi introduced to the Bonin Islands ○ Elizabeth Sheedy, Kentaro Hosaka. (Department of Botany, National Museum of Nature and Science, Tsukuba)
P-057	空間・気候要因がハイマツの外生菌根菌群集に及ぼす影響 ○小泉敬彦 <sup>1,2)</sup> ・奈良一秀 <sup>1)</sup> (1)東大院新領域；2)日本学術振興会)

P-058	利用履歴の異なる広葉樹林における木材腐朽菌群集の比較 ○服部力 <sup>1)</sup> ・原口岳 <sup>1)</sup> ・松浦俊也 <sup>1)</sup> ・長谷川元洋 <sup>2)</sup> ・岡部貴美子 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 森林総研 ; <sup>2)</sup> 森林総研四国)
P-059	地衣内生菌の分離における表面殺菌剤の効果について ○升本宙・出川洋介 (筑波大菅平)
P-060	アルカリ土壌の林床における尿素処理効果 ○伊野航 <sup>1)</sup> ・萩谷宏 <sup>1)</sup> ・安井万奈 <sup>2)</sup> ・鈴木彰 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 東京都市大学知識工 ; <sup>2)</sup> 早稲田大学理工)
P-061	本邦ブナ林における外生菌根菌群集の地理的パターン ○杉山賢子 <sup>1)</sup> ・松岡俊将 <sup>2)</sup> ・大園享司 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 東大新領域 ; <sup>2)</sup> 京大生態研 ; <sup>3)</sup> 同志社大理工学部)
P-062	日本国内における黒トリュフ発生地 of 土壌環境条件 ○古澤仁美・山中高史・野口享太郎・木下晃彦・小長谷啓介 (森林総研)
P-063	伊豆半島菌類の生物活性物質生産菌としての有用性に関する研究 ○野中健一・大見川祥平・加藤俊一・酒井一成・大村智 (北里大生命研)
P-064	ソライロタケをめぐる分類・生物地理・生態の謎 ○保坂健太郎 (国立科学博物館植物研究部)
P-065	ブユ幼虫の腸内糸状菌 <i>Simuliomyces microspor</i> (ハルペラ目) の神奈川県からの発見 ○陶山舞 <sup>1)</sup> ・佐藤大樹 <sup>2)</sup> ・折原貴道 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 神奈川県博 ; <sup>2)</sup> 森林総研)
P-066	スギ黒点病菌 <i>Sydowia japonica</i> の潜在分布予測 ○升屋勇人 <sup>1)</sup> ・市原優 <sup>2)</sup> ・相川拓也 <sup>1)</sup> ・高橋由紀子 <sup>3)</sup> ・窪野高徳 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> 森林総合研究所東北支所 ; <sup>2)</sup> 森林総合研究所関西支所 ; <sup>3)</sup> 森林総合研究所 ; <sup>4)</sup> 森林総研科学園)
P-067	スギ黒点病感染雄花花序枝における <i>Sydowia japonica</i> のジェネット組成 ○高橋由紀子 <sup>1)</sup> ・升屋勇人 <sup>2)</sup> ・窪野高徳 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 森林総研 ; <sup>2)</sup> 森林総研東北 ; <sup>3)</sup> 森林総研科学園)
P-068	大陸性南極露岩域のコケ層における菌類遷移 ○大園享司 <sup>1)</sup> ・広瀬大 <sup>2)</sup> ・保原達 <sup>3)</sup> ・田邊優貴 <sup>4)</sup> ・内田雅己 <sup>4)</sup> ・工藤栄 <sup>4)</sup> ( <sup>1)</sup> 同志社大学理工学部 ; <sup>2)</sup> 日本大学薬学部 ; <sup>3)</sup> 酪農学園大学 ; <sup>4)</sup> 国立極地研究所)
P-069	トウモロコシごま葉枯病菌の CLA4 PAK-like kinase は病原性, 形態形成, 極性決定に必須である ○北出雄生 <sup>1)</sup> ・泉津弘佑 <sup>2)</sup> ・住田卓也 <sup>1)</sup> ・田中千尋 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 京大院農 ; <sup>2)</sup> 滋賀県大環境科学)
P-070	Genetics analyses of reddish-brown colored polyoxin resistant mutants of <i>Bipolaris maydis</i> ○DaiDi Chen <sup>1)</sup> , Hiroshi Masumoto <sup>1,2)</sup> , Yuki Kitade <sup>1)</sup> , Kosuke Izumitsu <sup>3)</sup> , Chihiro Tanaka <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> Kyoto Univ.; <sup>2)</sup> Tsukuba Univ.; <sup>3)</sup> Univ. of Shiga Pref.)
P-071	RAD-seq解析を利用したシイタケ ( <i>Lentinula edodes</i> ) の発生時期 (早生・秋発生) に関わる QTL の探索 ○寺島和寿 <sup>1)</sup> ・前田亜紗 <sup>2)</sup> ・佐々木明正 <sup>1)</sup> ・永野惇 <sup>3)</sup> ・長谷部公三郎 <sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup> 日本きのこセンター菌蕈研 ; <sup>2)</sup> 鳥取県 ; <sup>3)</sup> 龍谷大学)
P-072	シイタケ ( <i>Lentinula edodes</i> ) の染色体地図の作製とその育種への利用 ○坂本裕一 <sup>1)</sup> ・佐藤志穂 <sup>1)</sup> ・金野尚武 <sup>1,2)</sup> ・宮崎安将 <sup>3)</sup> ・金子真也 <sup>4)</sup> ・浅野さとみ <sup>4)</sup> ・宮崎和弘 <sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup> 岩手生工研 ; <sup>2)</sup> 宇都宮大 ; <sup>3)</sup> 森林総研 ; <sup>4)</sup> 東工大)
P-073	ヒラタケを用いた真正担子菌類における有性形態形成に関わる分子機構の保存性の検証 ○堀井雅人・中沢威人・都築雅美・坂本正弘・本田与一 (京大院農)

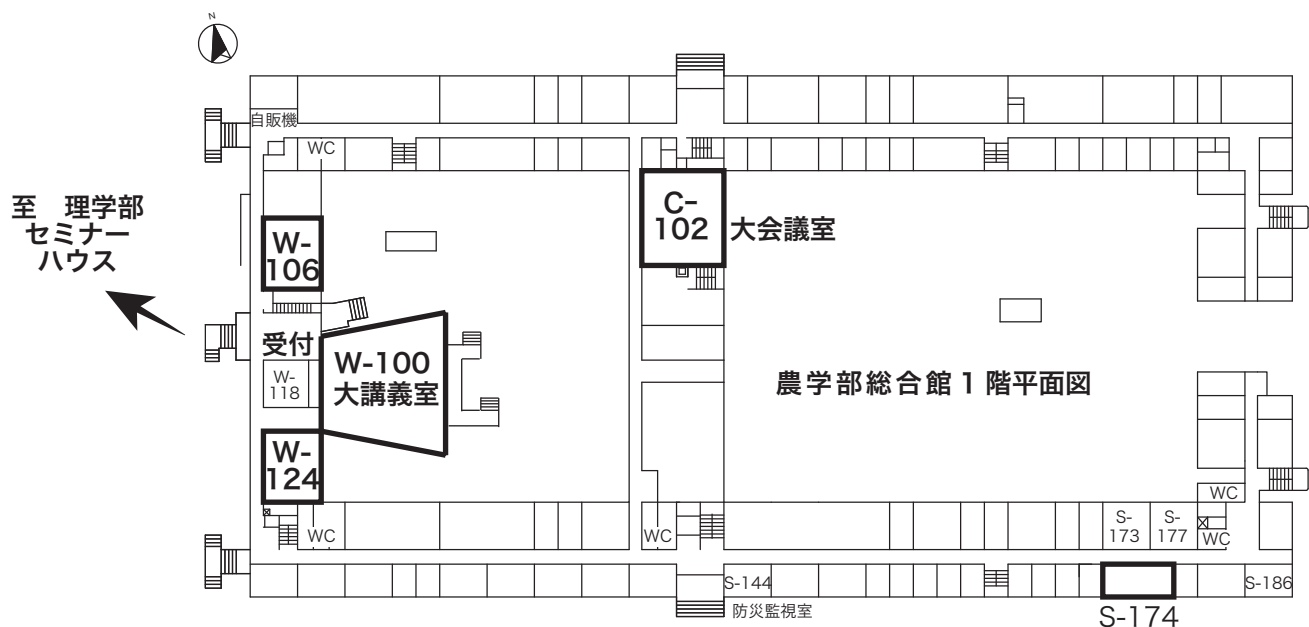
P-074	<p><i>Phanerochaete chrysosporium</i>におけるCaM相互作用性アルドケト還元酵素 ○左近静香<sup>1,2)</sup>・阪本鷹行<sup>1,3)</sup>・泉津弘佑<sup>1)</sup>・鈴木一実<sup>1)</sup>・入江俊一<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>滋賀県大環 ; <sup>2)</sup>京都大生存研 ; <sup>3)</sup>徳大生資 )</p>
P-075	<p><i>Coprinopsis cinerea</i>のTup1ホモログCag1は傘蕨肉組織で優先的に発現している。 ○村口元・増田亮 (秋田県立大学)</p>
P-076	<p>Genetic diversity of <i>Curvularia lunata</i> causing rice dirty panicle based on physiological races and DNA fingerprint analysis ○Therdsak Sawatsuk<sup>1)</sup>, Kawinthun Bubpha<sup>1)</sup>, Siriporn Korintsak<sup>2)</sup>, Rasamee Dhitikiattipong<sup>3)</sup>, Jintana Unartngam<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>Kasetsart Univ., Thailand; <sup>2)</sup>Ministry of agriculture and Cooperatives, Thailand; <sup>3)</sup>National Science and Technology Development Agency, Thailand )</p>
P-077	<p>Genetic variation of corn downy mildew fungi based on physiological race and Simple Sequence Repeats (SSRs) markers ○Pattama Janruang, Jintana Unartngam (Kasetsart Univ., Thailand)</p>
P-078	<p>白紋羽病菌の菌糸生長に対する温度および菌糸圏微生物叢の影響 ○于 遥<sup>1)</sup>・田森悠美<sup>2)</sup>・田代智子<sup>1)</sup>・中村 仁<sup>3)</sup>・勝山千恵<sup>1)</sup>・久我ゆかり<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>広島大学院総科 ; <sup>2)</sup>広島大学総科 ; <sup>3)</sup>農研機構果樹茶部門 )</p>
P-079	<p>ナミダタケモドキによるサワラ根株心材腐朽における腐朽の進展と菌の分布との関係 ○山田利博<sup>1)</sup>・原口竜成<sup>1)</sup>・平尾聡秀<sup>1)</sup>・太田祐子<sup>2)</sup>・山下香菜<sup>3)</sup> ( <sup>1)</sup>東大秩父演 ; <sup>2)</sup>日大生物資源 ; <sup>3)</sup>森林総研 )</p>
P-080	<p>小笠原産コーヒーノキから分離された数種<i>Colletotrichum</i>属菌の所属と病原性 ○藪島綾華<sup>1)</sup>・星秀男<sup>2)</sup>・小野剛<sup>3)</sup>・堀江博道<sup>1)</sup>・廣岡裕吏<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>法政大学植物医科 ; <sup>2)</sup>東京農総研 ; <sup>3)</sup>東京小笠原農セ )</p>
P-081	<p>ジオウ類斑点症状から分離された<i>Heterophoma</i>属菌の分類学的所属 ○柴田葵<sup>1)</sup>・利根川千枝<sup>1)</sup>・菊池健太郎<sup>2)</sup>・林茂樹<sup>2)</sup>・菱田敦之<sup>2)</sup>・荒金眞佐子<sup>3)</sup>・佐藤豊三<sup>4)</sup>・堀江博道<sup>1)</sup>・廣岡裕吏<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>法政大植物医科 ; <sup>2)</sup>医薬健栄研 ; <sup>3)</sup>東京健安研セ ; <sup>4)</sup>農研機構遺伝資源セ )</p>
P-082	<p>カンゾウ斑点病を引き起こす<i>Xenodidymella</i> sp.について ○利根川千枝<sup>1)</sup>・柴田葵<sup>1)</sup>・菊池健太郎<sup>2)</sup>・林茂樹<sup>2)</sup>・菱田敦之<sup>2)</sup>・佐藤豊三<sup>3)</sup>・廣岡裕吏<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>法政大植物医科 ; <sup>2)</sup>医薬健栄研 ; <sup>3)</sup>農研機構遺伝資源セ )</p>
P-083	<p>メロンうどんこ病菌の分生子柄形成に及ぼす光の影響 ○野々村照雄<sup>1)</sup>・西村祥吾<sup>1)</sup>・瀧川義浩<sup>2)</sup>・角谷晃司<sup>3)</sup>・松田克礼<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>近畿大農 ; <sup>2)</sup>近畿大先端技術総研 ; <sup>3)</sup>近畿大薬総研 )</p>
P-084	<p>ハウレンソウベと病抵抗性品種に近年発生した同病菌レース ○窪田昌春<sup>1)</sup>・田村収<sup>2)</sup>・野村康弘<sup>3)</sup>・折原紀子<sup>4)</sup>・山内智史<sup>5)</sup>・米本謙悟<sup>2)</sup>・千葉研一郎<sup>6)</sup>・染谷信孝<sup>1)</sup> ( <sup>1)</sup>農研機構野花研 ; <sup>2)</sup>徳島農総技支セ ; <sup>3)</sup>岐阜農技セ ; <sup>4)</sup>神奈川農技セ ; <sup>5)</sup>農研機構中央農研 ; <sup>6)</sup>宮城病害虫防除所 )</p>
P-085	<p>ギョウジャニンニクさび病菌 <i>Uromyces japonicus</i> の葉内の菌体蛍光イメージ ○田中栄爾<sup>1)</sup>・小野義隆<sup>2)</sup> ( <sup>1)</sup>石川県立大学 ; <sup>2)</sup>茨城大学 )</p>

P-086	New reports of <i>Melampsora</i> species from Pakistan ○ Najam-ul-Sehar Afshan <sup>1</sup> , Aamna Ishaq <sup>2</sup> , Sadiqullah <sup>3</sup> , Abdul Nasir Khalid <sup>2</sup> (1)Centre for Undergraduate Studies, Punjab Univ.; 2)Department of Bot., Punjab Univ.; 3)Hazara Univ.)
P-087	トウモロコシごま葉枯病菌のキシロース代謝能欠損体の性状 ○吉田裕史・田中千尋 (京大院農)
P-088	<i>Coprinosia cinerea</i> 由来 PQQ 依存性ピラノース脱水素酵素が植物細胞壁分解に果たす役割 ○梅澤究 <sup>1</sup> ・武田康太 <sup>2</sup> ・石田卓也 <sup>3</sup> ・中村暢文 <sup>2</sup> ・大野弘幸 <sup>2</sup> ・五十嵐圭日子 <sup>3</sup> ・鮫島正浩 <sup>3</sup> ・吉田誠 <sup>1</sup> (1)農工大農; 2)農工大工; 3)東大院農生科)
P-089	ツツジ科植物ニイタカイチャクソウに関わる菌根菌 上杉天志 <sup>1</sup> ・陳建帆 <sup>2</sup> ・○松田陽介 <sup>1</sup> (1)三重大院生資; 2)台湾林業試験所)
P-090	共生菌種の違いによるサイハイランの菌従属栄養レベルの変化 ○谷亀高広 <sup>1</sup> ・船曳恵理子 <sup>2</sup> ・Marc-André Selosse <sup>3</sup> ・大和政秀 <sup>4</sup> ・遊川知久 <sup>1</sup> (1)国立科博植物園; 2)鳥取大農; 3)Sorbonne Univ.; 4)千葉大教育)
P-091	「いのちの森」における <i>Tuber</i> sp. の発消長, 発生分布, および分類学的検討 ○下野義人 <sup>1</sup> ・大藪崇司 <sup>2</sup> ・北出雄生 <sup>3</sup> ・岩瀬剛二 <sup>4</sup> (1)三重大院生資; 2)兵庫県大院緑環境景観; 3)京都大院農; 4)帝京科学大自然環境)
P-092	アツギケカビ属が自然環境下においてコナラ属樹木に形成した外生菌根の同定 ○山本航平 <sup>1</sup> ・遠藤直樹 <sup>2</sup> ・出川洋介 <sup>3</sup> ・山田明義 <sup>1</sup> (1)信州大農; 2)鳥取大; 3)筑波大菅平)
P-093	海浜植物ハマヒルガオの根部エンドファイト ○阿部美聡・玉井裕・宮本敏澄 (北大院農)
P-094	ネジバナの菌根菌 <i>Epulorhiza</i> 属菌の地理的分布 ○藤森祥平・阿部淳一・山岡裕一 (筑波大生命環境)
P-095	北海道の勇払湿原に自生するハスカップの根部エンドファイト ○桂本拓弥・玉井裕・矢島崇・宮本敏澄 (北海道大学大学院農学院)
P-096	シダ植物リュウビンタイとゼンマイの配偶体におけるケカビ亜門感染の探索 ○辻田有紀 <sup>1</sup> ・山本航平 <sup>2</sup> ・平山裕美子 <sup>3</sup> ・海老原淳 <sup>4</sup> ・山田明義 <sup>2</sup> ・今市涼子 <sup>3</sup> (1)佐賀大; 2)信州大; 3)日本女子大; 4)国立科博)
P-097	マツタケ菌根苗の成長における追肥の添加効果 ○小林久泰・富田莉奈・山口晶子 (茨城県林技セ)
P-098	マツタケシロにおけるマツタケ菌体量と抗菌物質・シュウ酸アルミニウム濃度の季節変化 ○西野勝俊 <sup>1</sup> ・松原佳耶 <sup>1</sup> ・田中千尋 <sup>1</sup> ・山口宗義 <sup>2</sup> ・藤田 徹 <sup>3</sup> ・山田明義 <sup>4</sup> ・平井伸博 <sup>1</sup> (1)京大院農; 2)森林総研; 3)京都府農水技セ; 4)信大農)
P-099	<i>Mortierella parvispora</i> に内生する <i>Mycovaidus</i> 属細菌による宿主の接合胞子形成の阻害 ○高島勇介 <sup>1,2</sup> ・太田寛行 <sup>3</sup> ・成澤才彦 <sup>3</sup> (1)東京農工大連合農学; 2)日本学術振興会特別研究員 DC; 3)茨城大農)
P-100	コナラ属樹種およびアカマツに形成されたイボセイヨウショウロの外生菌根 木下晃彦 <sup>1</sup> ・○小長谷啓介 <sup>1</sup> ・阿部淳一 <sup>2</sup> ・山中高史 <sup>1</sup> (1)森林総研; 2)筑波大)

P-101	<p>アーバスキュラー菌根菌 <i>Rhizophagus irregularis</i> の高精度ゲノム解読</p> <p>○小林裕樹<sup>1,2)</sup>・前田太郎<sup>1,2)</sup>・亀岡啓<sup>1,2)</sup>・尾納隆大<sup>3)</sup>・山口勝司<sup>3)</sup>・重信秀治<sup>3,4)</sup>・川口正代司<sup>1,2,4)</sup> (1)基生研共生システム; 2)JST ACCEL; 3)基生研機能解析セ; 4)総研大)</p>
P-102	<p>絶滅危惧種トガサワラに共生するショウロ属菌の集団遺伝構造</p> <p>○阿部寛史・村田政穂・奈良一秀 (東大新領域)</p>
P-103	<p>ウバメガシ (<i>Quercus phillyraeoides</i>) 取り木苗へのバカマツタケ (<i>Tricholoma bakamatsutake</i>) 感染試験</p> <p>○河合昌孝 (奈良県森技セ)</p>
P-104	<p><i>Russula amythistina</i> and its ectomycorrhiza, new to Pakistan</p> <p>○Abdul Rehman Khan Niazi<sup>1)</sup>, Sana Jabeen<sup>1)</sup>, Ishtiaq Ahmad<sup>2)</sup>, Abdul Nasir Khalid<sup>1)</sup> (1)Punjab Univ.; 2)Hazara Univ.)</p>
P-105	<p>深海由来真菌の分子同定および抗生物質の探索</p> <p>○高橋こなみ<sup>1,2)</sup>・長野由梨子<sup>2)</sup>・瀧下清貴<sup>2)</sup>・藤倉克則<sup>2)</sup> (1)東京海洋大学大学院; 2)海洋研究開発機構)</p>
P-106	<p>菌類学習におけるアマチュア団体・学会・博物館の意義</p> <p>○佐久間大輔 (大阪市立自然史博物館)</p>
P-107	<p>マツカサキノコ属菌におけるトビムシに対する殺虫作用の種間比較</p> <p>○鎌田耕作<sup>1)</sup>・中森泰三<sup>1)</sup>・寺嶋芳江<sup>2)</sup>・Nguyen Duc Hoang Pham<sup>3)</sup>・出川洋介<sup>4)</sup> (1)横浜国立大学; 2)琉球大学; 3)Biotech Cen HCM City; 4)筑波大学)</p>
P-108	<p>ヤマナメクジ <i>Meghimatium fruhstorferi</i> による孢子散布</p> <p>○北林慶子・都野展子 (金沢大学自然科学研究科)</p>
P-109	<p><i>Trichaptum</i> 属 2 種における木材腐朽プロセスの比較解析</p> <p>中崎勇弥・棚部美春・○佐藤伸 (公立鳥取環境大学環境学部)</p>
P-110	<p>Genetic differentiation of <i>Trichoderma asperellum</i> wild type and mutant strains using ISSR markers</p> <p>○Jintana Unartngam, Thiphaphorn Naunnet, Kannika Srinuan, Chiradej Chamsawan (Kasetsart Univ., Thailand)</p>
P-111	<p>隔壁孔キャップの形態進化における原因遺伝子予測</p> <p>○飯塚朋代<sup>1)</sup>・野澤昌文<sup>2)</sup>・池尾一穂<sup>1,3)</sup> (1)総研大遺伝学; 2)首都大理工; 3)遺伝研)</p>
P-112	<p>継代培養による担子菌 <i>Ganoderma lucidum</i> NBRC 8346 のゲノム変異</p> <p>○桜井健太・湯浅宗光・黄地祥子・細山哲・佐藤真則・藤田信之・川崎浩子 (製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター)</p>
P-113	<p>木材腐朽菌による腐朽木片からの微弱化学発光</p> <p>○西村健<sup>1)</sup>・白井伸明<sup>2)</sup>・渡辺隆司<sup>3)</sup>・服部力<sup>1)</sup>・太田祐子<sup>1,4)</sup> (1)森林総研; 2)滋賀工技センター; 3)京大大学生存圏; 4)現日本大学)</p>
P-114	<p>富士山の野生きのこに含まれる放射性セシウム濃度 (2015)</p> <p>○後藤康彦<sup>1)</sup>・桧垣正吾<sup>2)</sup>・保坂健太郎<sup>3)</sup>・柴田尚<sup>4)</sup>・広井勝<sup>5)</sup>・野村貴美<sup>6)</sup> (1)菌類懇話会; 2)東大 RIC; 3)国立科博; 4)山梨県森林研; 5)郡山女子大; 6)明大)</p>

P-115	シイタケ栽培の害虫ハラアコブカミキリの天敵微生物 <i>Beauveria brongniartii</i> による防除法 ○村上康明・山下和久（大分県きのこグループ）
P-116	タモギタケ孢子欠損性変異体の細胞学的解析 ○米山彰造 <sup>1)</sup> ・安東夏都美 <sup>2)</sup> ・東智則 <sup>1)</sup> ・佐藤真由美 <sup>1)</sup> ・牛島秀爾 <sup>2)</sup> ・松本晃幸 <sup>2)</sup> （ <sup>1)</sup> 道総研林産試； <sup>2)</sup> 鳥取大学）
P-117	福島県内における野生きのこの放射性セシウム濃度の動向(2015) ○広井勝 <sup>1)</sup> ・影山志保 <sup>1)</sup> ・桧垣正吾 <sup>2)</sup> ・保坂健太郎 <sup>3)</sup> ・後藤康彦 <sup>4)</sup> （ <sup>1)</sup> 郡山女子大； <sup>2)</sup> 東大 RIセ； <sup>3)</sup> 国立科博； <sup>4)</sup> 菌類懇話会）
P-118	沖縄県産 <i>Termitomyces</i> 属 1 種子実体のアミノ酸含有量と味覚の特徴 ○寺嶋芳江（琉大熱生研）

# 大会会場案内図 (京都大学農学部総合館・理学部 セミナーハウス他)

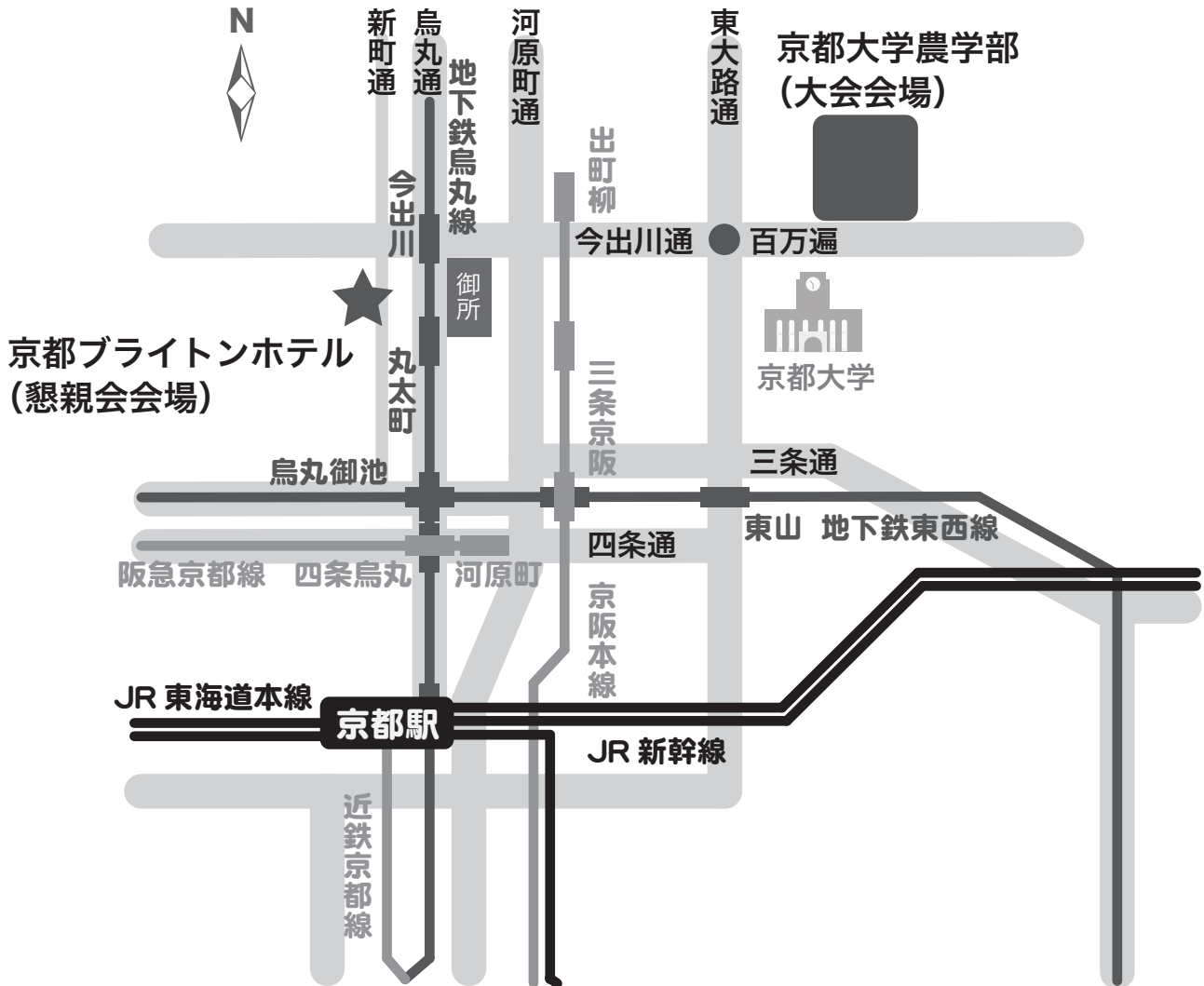


- 9月16日(金) 編集委員会, 理事会, 評議員会: S-174; 合同懇親会: 旧演習林事務室
- 9月17日(土) 総会, 各種賞授与式, 国際シンポ: W-100 大講義室  
 高校生ポスター発表 (HP01~HP12), ポスター発表 (P-001~P-046): C-102 大会議室  
 ポスター発表 (P-047~P-118): 理学部セミナーハウス  
 自由集会: S-174  
 アマチュアならびに関連団体展示: W-124  
 休憩室ならびに企業展示: W-106  
 懇親会: 京都ブライトンホテル (今出川通より会場行きバス発車)
- 9月18日(日) 学術シンポ, 表彰式, 閉会式, 菌類観察会 (大津フォーレ) 講演会: W-100 大講義室  
 ポスター発表 (P-001~P-046): C-102 大会議室  
 ポスター発表 (P-047~P-118): 理学部セミナーハウス  
 アマチュアならびに関連団体展示: W-124  
 休憩室ならびに企業展示: W-106



# 大会会場（京都大学農学部総合館・理学部セミナーハウス）

## ならびに懇親会会場（京都ブライトンホテル）交通案内



### 交通案内（大会会場）

#### ■JR 京都駅・近鉄京都駅から

- ・京都駅正面の京都市バス「A2 のりば」から 17 号系統「出町柳駅 銀閣寺・錦林車庫行き」で「京大農学部前」バス停下車すぐ
- ・地下鉄烏丸（からすま）線「今出川」下車, 京都市バス 203 号系統「出町柳駅 銀閣寺・錦林車庫行き」で「京大農学部前」バス停下車すぐ

#### ■阪急河原町駅から

- ・京都市バス「四条河原町」バス停から 17 号系統で「京大農学部前」バス停下車すぐ

#### ■京阪出町柳から

- ・京都市バス「出町柳（でまちやなぎ）」バス停から 17 号系統・203 号系統「銀閣寺・錦林車庫行き」で「京大農学部前」バス停下車

### 懇親会会場への交通案内

- ・17 日（土）17:00 より、大会会場から懇親会会場まで、バスによるピストン輸送を実施いたします
- ・発車場所は大会会場案内図をごらんください
- ・京都市バスでも移動できます。大会会場から今出川通を渡った南側「京大農学部前」バス停より、203 号系統「北野天満宮 西大路四条方面行き」で「上京区総合庁舎前」バス停下車（所要約 12 分）、新町通を南へ徒歩約 8 分